

第3学年1組 学級活動(2) 指導案

1 題材 本は友だち (学級活動(2)-オ)

2 本題材の指導の立場

(1) 児童の実態

本学級の子どもたちは、一学期に国語科「本を使って調べよう」の学習で百科事典の使い方や様々な本を使って調べることのよさを学習してきている。しかし、子どもたちの読書活動の姿を見ると、図書館の利用状況には、大変個人差が見られる。また、読書の幅が狭いことも読みたい本を見つけられない要因の一つである。そこで、様々な本を使うことのよさを学習し、様々な種類の本に興味をもち始めたこの期に、本題材を取り上げる。そして、これまでの読書活動の振り返りから、味見読書の活動を通して、読書活動の楽しさや様々な種類の本を読むことの大切さについて理解し、自己の課題を解決する取り組みを自己決定することができるようにしたい。このことは、様々な本に親しみ、言語活動を充実させ、「読書センター」としてだけでなく、「学習・情報センター」として学校図書館を活用していく子どもを育てるとともに、自分の考えを主体的に表現する子どもを育成する上からも意義深い。

(2) 教材の価値

本題材は、日頃の読書活動を振り返り、様々な種類の本を読む活動を通して、自分たちの読書活動を見直し、様々な種類の本を読みたいという意欲を高めていくことをねらいとしている。自分たちの読書活動を振り返り、学校図書館の魅力や読書活動の楽しさに気付かせ、実践意欲を高めてこれからの具体的な取り組みを自己決定させていくようにする。この題材を通して、「いろいろな種類の本を読みたい。」「この分類の本を読みたいかな。」というように子どもの読書意欲を向上させることは、子どもたちの語彙力や豊かな想像力を培うことにつながる。このことは、高学年において、日常の学習に学校図書館を活用する態度を育み、自分の課題に必要な情報収集の方法を考えて本を選ぶ姿へと発展していく。

(3) 指導の構え

味見読書を通して、様々な種類の本にふれる活動は、子どもの読書活動を充実させ、様々な種類の本を読み広げることに楽しさに気付かせるために適した活動であると考え。

本題材では、事前の活動では、子どもたちの読書活動をつかむためのアンケート調査を行い、実態を把握するとともに、課題を明確にしておく。本時では、まず、「つかむ」段階で、自分の読書活動を振り返るデータをもとに自分の今まで読んできている種類に偏りがあるという課題から、味見読書を通していろいろな種類の本のよさを見つけるというめあてをつかませる。次に、「つくる」段階で、味見読書を行い、様々な種類の本の面白さを見つける。そして、「みがく」段階で、様々な種類の本のよさを見つける活動を通して面白いと思ったところ・興味のあるところを話し合わせる。最後に、「生かす」段階で、これまでの自分の読書活動の振り返りからこれからの読書活動への取り組み方を自己決定させる。事後には、自己決定したことが実践できているか、評価を行い、出来ているところを賞賛して実践化を図る。

特に、題材を通して図書館の様々な種類の本にふれる活動の場を設定したり、「つくる」段階で味見読書を行い、分類ごとの本のよさを見つける活動を行ったりして学校図書館の活用を図る。

3 目標

- 様々な種類の本を読みたいという思いをもち、図書館の本が内容ごとに分かれる分類番号を使って、いろいろな事柄を調べたり、本を選んで読んだりして読書を楽しもうとする態度を育てる。
【関心・意欲・態度】
- これまでの読書活動について考え、様々な種類の本を読むために考え、判断し、実践することができる。
【思考・判断・実践】
- 図書館の本は内容ごとに番号で分かれていることを理解することができる。
【知識・理解】

4 活動の流れ

	日時	活動内容	教師の支援	めざす子どもの姿と 評価方法
事前	10/ 24	1 これまでの読書活動について考える。	○ 各分類の貸し出しデータをもとにこれまでの読書活動について考え、自分の読書活動への取り組み方について振り返らせる。	○ 各分類の貸し出しデータからこれまでの読書活動の仕方を振り返っている。 <学級の分類別貸し出しデータ>
本時①	10/ 27	1 味見読書の活動を通して、様々な種類の本を読むことのよさについて考える。 2 これからの自分が取り組んでいくことを自己決定する。	○ これまでの読書活動の様子についての振り返りから分類表を使って読んでいる本の種類の偏りを知ること で、味見読書を通して、様々な種類の本を読んだりしたいという意欲を高める。 ○ 学習したことを基にして、これからどのように実践していくかを自己決定させる。	○ 自分の読書活動を振り返り、味見読書を通して、様々な種類の本を読むことの楽しさや大切さに気づくことができる。 <ワークシート> ○ これからの読書活動への取り組み方を自己決定することができる。 <ワークシート>
事後	10/ 28~	1 自己決定したことを実践する。	○ 自分の読書活動の仕方を考え、行動している子どもや、味見読書で見つけた本の感想を伝えている子どもを賞賛し、紹介する。 ○ 自分の読んだ本の紹介する場を設定し、認め合う活動を行うことで実践への意欲を高める。	○ 自分の読書活動の取り組みを見直し、味見読書で見つけた本を読んで感想を伝えることができる。 <観察> ○ 友だちの紹介した本の良さを感じ、伝えることができる。 <観察>

5 本時の主眼

- 図書室の本は、内容ごとに10の分類に分けられていることを知り、これまでの自己の読書活動を見直すことができる。

6 準備

- 児童一人ひとりの各分類の貸し出し冊数のデータ
- 学級の各分類の貸し出し冊数のデータ
- 各分類の本
- 分類ごとの内容カード

7 本時の展開(45分)

段階	学習活動と内容	教師の支援								
<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>みかく</p> <p>生かす</p>	<p>1 これまでの読書活動を振り返り、自分たちの課題を確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ種類の本ばかり読んでいる。 ・1類や3類を読んでいる人が少ない。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><図書館の本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室にはいろいろな種類の本がある。 ・本によって書いてある内容は違う。 </div> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>いろいろな本の味見をして、本の面白さを話し合おう。</p> </div> <p>2 分類ごとの本の内容を知り、自分の課題を振り返り、味見読書をする。</p> <p>(1) 各分類番号の本の内容を確認し、味見読書のルールを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><味見読書ルール></p> <ol style="list-style-type: none"> ① シートに、分類番号、タイトルを記録する。 ② 本の「初めに」や中身を読む。(3～5分) ③ 面白そうなところ・興味をもったところをメモする。 </div> <p>(2) 味見読書をして、本の面白いところや興味のあるところを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0類の図鑑や事典を読むといろいろなことが分かる。 ・9類のこの物語の続きが気になるから読んでみたい。 <p>3 味見読書で見つけた本の面白さや興味をもったところを交流する。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;">4類</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">7類</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">2類</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">5類</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">理科の内容が載っているから昆虫を調べるときとかに使えそうだね。</td> <td style="padding: 5px;">スポーツや遊びのことが書いてあるからみんな遊びの時とか使えそうだよ。</td> <td style="padding: 5px;">発明家や音楽家の生き方が書いてあって、今の生活につながっているよ。</td> <td style="padding: 5px;">自分たちの生活に使っている、機械の仕組みが分かって面白い。</td> </tr> </table> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>図書室の本は、十の種類に分けられていて、それぞれに面白さがある。</p> </div> <p>4 活動を振り返り、これからの読書活動への取り組み方を自己決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までは同じ種類の本しか読んでいなかったけど、ほかの種類の本も読んでみたい。 	4類	7類	2類	5類	理科の内容が載っているから昆虫を調べるときとかに使えそうだね。	スポーツや遊びのことが書いてあるからみんな遊びの時とか使えそうだよ。	発明家や音楽家の生き方が書いてあって、今の生活につながっているよ。	自分たちの生活に使っている、機械の仕組みが分かって面白い。	<p>○ 今まで借りた分類別の本のデータを見て、自分の読書活動の課題を見つけ、学習のめあてをつかむことができるようにする。</p> <p>○ 今までにあまり読んでなかった本に対する興味・関心を引き出させるために各分類の本を準備し、味見読書の活動を仕組む。</p> <p>○ グループ交流の中で、それぞれの本のよさを認め合い、話し合うことで色々な本の面白さや楽しさに気づくことができるように友だちの紹介する本のよさをワークシートに記録していく。</p> <p>○ 味見読書を行った後に交流活動を位置づけ、各分類の本の面白さや楽しさ、有用性を実感し、読書の意欲を高めることができるように交流活動を位置づける。</p> <p>※ これまでの読書活動を振り返り、自分の読書活動への課題を解決するための取り組みを考えることができるようにする。</p> <p>○ 各自の課題に応じた読書の幅を広げるための取り組みを自己決定したことを賞賛し、実践意欲を高めることができるようにする。</p>
4類	7類	2類	5類							
理科の内容が載っているから昆虫を調べるときとかに使えそうだね。	スポーツや遊びのことが書いてあるからみんな遊びの時とか使えそうだよ。	発明家や音楽家の生き方が書いてあって、今の生活につながっているよ。	自分たちの生活に使っている、機械の仕組みが分かって面白い。							